

市営下岡本団地屋根塗装工事

図面リスト

01	特記仕様書	10	【638・639】屋根伏図、立面図
02	案内図、配置図	11	【640・641】屋根伏図、立面図
03	【61年棟】仮設図		
04	【62年棟】仮設図		
05	【628・629】屋根伏図、立面図		
06	【630・631】屋根伏図、立面図		
07	【632・633】屋根伏図、立面図		
08	【634・635】屋根伏図、立面図		
09	【636・637】屋根伏図、立面図		

建築工事特記仕様書 1

1. 工 事 名 称
2. 建 築 場 所
3. 地 域
4. 構 造・規 模
5. 別 途 工 事
- 市営下岡本団地屋根塗装工事
- 高山市下岡本町地内
- 都市計画区域内
- ・木造2階建て136.64㎡＋147.40㎡（7棟）
- ・無し

1. 一般共通事項

- ①.適用範囲

本工事の仕様は現場説明事項（設計説明書を含む以下現場説明書と言う。）、添付特記仕様書による以外は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共木造建築工事標準仕様書（最新版）（以下「木標仕」）、公共建築改修工事標準仕様書（建築・電気・機械）（最新版）（以下「改標仕」）、公共建築工事標準仕様書（建築・電気・機械設備）（最新版）（以下「標仕」）、建築物解体工事共通仕様書（最新版）（以下「解共仕」）による。設計図書に記載なき場合でも、意匠、構造、設備の機能の上から当然必要と認められるものは、監督員の指示により請負金額の範囲内において施工すること。又、図中明記なき箇所及び疑わしき箇所がある場合は監督員と協議の上承認を得た後に施工すること。特記事項は○印の付いたものを適用する。○印のない場合は○印の付いたものを適用する。○印○印のある場合は共に適用する。
- ②.設計図書順位

1) 質疑問答書

2) 現場説明書

3) 特記仕様書

4) 設 計 図

5) 標準仕様書

6) 共通規格及びこれに準ずる規格
- ③.質疑及び軽微な変更

図面、仕様書の内容に相違のある場合、明記のない場合は、全て監督員と協議し、その指示により行なう。この場合、請負金額は、増減しないことを原則とする。
- 4.別途工事との取合い

別途発注されるを工事を受注した業者と、施工時期・施工方法を調整の上、施工すること。
- ⑤.提出書類

1) A、工事中時及び工事中全体施工計画書、現場代理人届、同経歴書、主任技術者届、同経歴書有資格者名簿、材料発注予定表、下請人名簿、工程表、工事費内訳書、火災保険証書、施工図、工作図、施工計画書、その他監督員の指示による。

B、工事完成時完成届、完成写真、竣工図（CADデータ）、鍵等引渡書、その他材料試験結果、品質性能証明書、各保証書等、その他工事関係書類

提出部数・提出期限については監督員の指示により速やかに提出すること。

2) 工事写真着工時・敷地及び周辺の道路、建築物、工作物等の現況の撮影。

工事中・進捗状況の撮影記録をすると共に、特に施工後、隠ぺい又は埋設される被写真に巾広テープをそえて撮影する。

完成時・全景及び屋内外の主要をカラー撮影
3) 竣工図はA2版の製本 3部、提出図面は（意匠図、構造図）及びCADデータ

、工事書類の簡素化について実施にあっては「工事書類簡素化要領」（技191号平成22年6月30日改正）に基づいて実施すること。
- ⑥.工事現場管理

工事現場の安全衛生管理、工事用電力の保全、火災防止は、関係法令に従い適切な処置をすること。
- ⑦.工事公害

工事搬入撤去による公共道路の清掃、保全、修繕は施工者に於いて行うこと。工事による周辺の汚損は直ちに修繕すること。尚、工事公害の解決は施工者に於いて行うこと。
- ⑧.下請契約及び使用資材について

本工事において、下請契約を締結する場合には、原則として、当該契約の相手側を高山市内に本店（建設業法（昭和24年法律第100号）に規定する営業所を含む。）を有する者の中から選定すること。本工事において、工事材料に係る納入契約をする場合には、当該契約の相手には、高山市内に本店を有する者の中から選定するよう努めると共に、調達する工事材料は原則として、高山市内での生産品（高山市内での生産のない物にあっては、岐阜県産）を選定すること。

- ⑨.規格・材料選定

設計図書にJIS（日本工業規格）などのマーク表示品と指定された材料及び機器は、それぞれのマーク表示のあるもの又は規格証明書の添付されたものとする。設計図書に記載のある品番等は全て参考品番であり、本工事に使用する材料の採用に際しては、これらと同等のものとする。同等品の採用に際しては監督員の承諾を受けること。
- ⑩.工事着手前協議

1) 本工事の受注者は、契約後1～2週間以内に設計書内容等について、監督員と工事着手前協議行うこと。

2) 協議に当たっては、別に定める「施工打ち合わせ記録簿」に協議事項を記入し、打ち合わせに持参すること。なお、協議日の設定については、受注者側から事前に監督員と連絡を取り決定しておくこと。

3) 協議に当たって、発注者側は監督員及び担当係長又は課長、受注者側は現場代理人及び主任技術者が出席するものとする。

4) 協議時、「施工打ち合わせ記録簿」の回答（その他）欄は監督員が記入し、最後に確認を行い監督員・担当係長又は課長の確認印を押印し、写しを現場代理人（主任技術者）が受け取ること。
- ⑪.実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価出来る項目として、工事完了までに所定の様式により提出することが出来る。
- ⑫.電子メールの利用

「電子メールを活用した情報共有における運用指針」による他、工事着手前協議時に監督員と協議の上、決定するものとする。
- ⑬.重点監督対象工事

当該工事が高山市重点監督対象工事となった場合は、その取り扱いによるものとする。
- ⑭.諸官庁手続き

工事に必要な申請、届出等の諸手続き及びその費用は請負者にて行うこと。
- ⑮.発生材の処理

引渡しを要するものは監督員の指定する場所に整理リストを作成の上施設管理者へ引渡す。又引渡しを要しないものは全て場外に搬出し下記の建設廃棄物の項及び関係法令等に従い適正に処理する。

処理については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「岐阜県廃棄物の適正処理に関する条例」、「岐阜県建設廃棄物適正処理の三原則」の規定を遵守し適正に処理する。混合物の処理については管理型最終処分場に持込むものとする。
- 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書

建設リサイクル法の実施に係る岐阜県指針に基づき、工事着手前に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を、また、工事完了後に同計画書の実施報告書を提出すること。

・しない
○する

工事に伴い発生する建設廃棄物のうち、次の物は再資源化施設へ搬出する。
・コンクリート塊 ・アスファルト塊 ・建設発生木材 ・建設汚泥 ・石膏ボード
また、鉄骨、建具、ダクト、配管、機器等の金属類については積極的に再資源化を図ること。
- ⑯.ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について

・ディーゼルエンジンを動力とする車両にはJIS規格の軽油を使用すること。
・ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には協力すること。
- ⑰.工事実績情報の登録

請負業者は、工事請負金額500万円以上の工事については工事実績情報の実績情報（CORINS）に契約後10日以内に登録すること。下請業者の選定に当たっては高山市入札参加資格停止の処置がされていないこと。
- ⑱.登録・保険

建設工事保険の加入を行う。（完成期限後15日まで）加入を証する書面の写しを工事着手後14日以内に提出すること。
- 19.電気保安技術者

・適用する ・適用しない
- ⑳.施工の検査等

○行う ・行わない
- ㉑.契約不適合責任

本工事請負者は契約約款に基づき工事竣工引渡し後、満2年間の保証を有する。また保証期間中に発生した施工上の欠陥に対しては、工事請負者の負担で保証を行う。
- ㉒.現地確認、建物配置

・現地にて敷地状況、既存建築物等の状況を確認する。
・建築物等の配置は、縄張りにて監督員立会いのうえ決定する。
- ㉓.ベンチマーク

・設計GLの決定は監督員立会いのうえ決定する。
- ㉔.障害物の処理

・支障物の処理にあたっては、監督員・関係者の承認を受ける。
・設計図書に記載がなく、工事に必要な仮設、撤去、移設、養生等が発生した場合は、監督員の指示のもとに速やかに対処すること。
- ㉕.週休2日制工事の実施

・本工事は、完全週休2日を原則とした週休2日制工事（現場閉所）とする。詳細は「高山市発注の建設工事に係る週休2日制工事実施要領」に従うこと。

- ㉖.追記事項

・本工事は、住民が生活しながらの工事となる為、工事中は住民の安全を優先すること。仮設足場を設置した場合は、住民が安全に住戸に出入りできるよう通路を確保するなどの対処をする。工事の工程を、住民、住居管理者に事前に告知する事。
・就業時間は、住民の生活に配慮し計画すること、やむを得ず早朝・休日作業が必要な場合は住民に事前に了解を得ること。

2.仮設工事

- ①.監督員事務所

・㎡程度
○ 設けない
種 別 ・1号 ・2号 ・3号 ・4号 ・5号
備 品 （ ）
- ②.工事用電力・用水

工事用電力 ○ 利用出来る（ ○ 有償 ・ 無償 ） ・ 利用出来ない
工事用用水 ○ 利用出来る（ ○ 有償 ・ 無償 ） ・ 利用出来ない
事前に施設管理者に了解を得ること。
- 3.仮囲い・工事区画

・波形鉄板 H=1.80m ・成形鋼板 H=3.0m ・シートゲート
・ガードフェンス H= m ・バリケード
- 4.危険防止

・シート張り
- ⑤.足場

※ 内、外部足場（手すり先行足場）
- ⑥.工事用進入路

・施設管理者と協議の上、施設利用者の安全を最優先に計画すること。

3.塗装工事

- ①.素地ごしらえ

木 部 ○ 木部の汚れ・付着物は面を傷つけないように除去し油類は溶剤等で拭き取る。
・ヤニは削り取り又は電気ゴテ焼きのうえ、溶剤等で拭き取る。
・カンナ目、逆目、けば等は研磨紙P120～220を使用し研磨する。
・ R A種 ・ R B種 ・ R C種

- せっこうボード及び その他ボード面
- ・釘頭、タタキ跡、傷等はパテ処理のうえ、研磨紙P120～220を使用し研磨する。
・石膏ボードの目地処理材はジョイントコンパウンドとし不陸を調整する。

- 鉄鋼、亜鉛メッキ面
- ・ R A種 ※ R B種 ・ R C種
・フッ素樹脂塗膜表面表面目粗し（ポリリッシャー掛け）

- 高圧水洗淨
- 行なう

- ②.さび止め塗料（特殊変性エポキシ樹脂）

鉄 面 ・ A種（屋外） ・ B種（屋内） ○ C種（塗替え）
亜鉛メッキ面 ・ A種（屋外） ・ B種（屋内） ・ C種（塗替え）
- 3.合成樹脂調合ペイント（SOP）

屋 外 ・ 1種 ・ 2種 屋 内 ・ 1種 ・ 2種
木 部 ・ A種 ・ B種 ・ C種
鉄 面 ・ A種 ・ B種
亜鉛メッキ面 ・ A種 ・ B種
- 4.クリヤラッカー（CL）

木 部 ・ A種 ※ B種

- 5.フタル酸樹脂エナメル（FE）

木 部 ・ A種 ・ B種
鉄 面 ・ A種 ・ B種
亜鉛メッキ面 ・ A種 ・ B種
- 6.塩化ビニル樹脂エナメル（VE）

コンクリート モルタル面等 ・ A種 ・ B種

- 7.アクリル樹脂エナメル（AEP）

コンクリート ボード面等 ・ A種 ・ B種

- 8.つや有合成樹脂エマルションペイント（GEP）

コンクリート ボード面等 ・ A種 ・ B種

- 9.合成樹脂エマルションペイント（EP）

コンクリート ボード面等 ・ A種 ※ B種

- 10.ウレタン樹脂ワニス（UC）

木 部 ・ A種 ・ B種

- 11.油性ステイン（OS）

木 部

- ⑫.木材保護塗料（WP）

○ キシラデコール同等品 木 部 ・ A種 ※ B種

- ⑬.遮熱塗料

○ シリコン樹脂系

- 14.外壁補修塗料

・セラミックスシリコン樹脂塗料

4.屋根及びとい工事

- 1.ガルバリウム鋼板

屋根ふき形式 ・ 長尺横葺 ・ 立平葺 厚さ ※ 0.4 （mm）
屋根補修 ・ 長尺横葺 厚さ ※ 0.35（現況合わせ）
- 2.折 版 ふ き

種 類 ・ 重ね型 ・ はぜ締め型 厚さ 0.8 （mm）

- 3.スレート波板ふき

種 類

- ④.と い

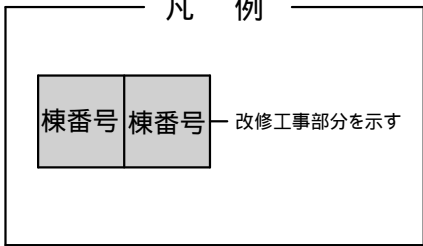
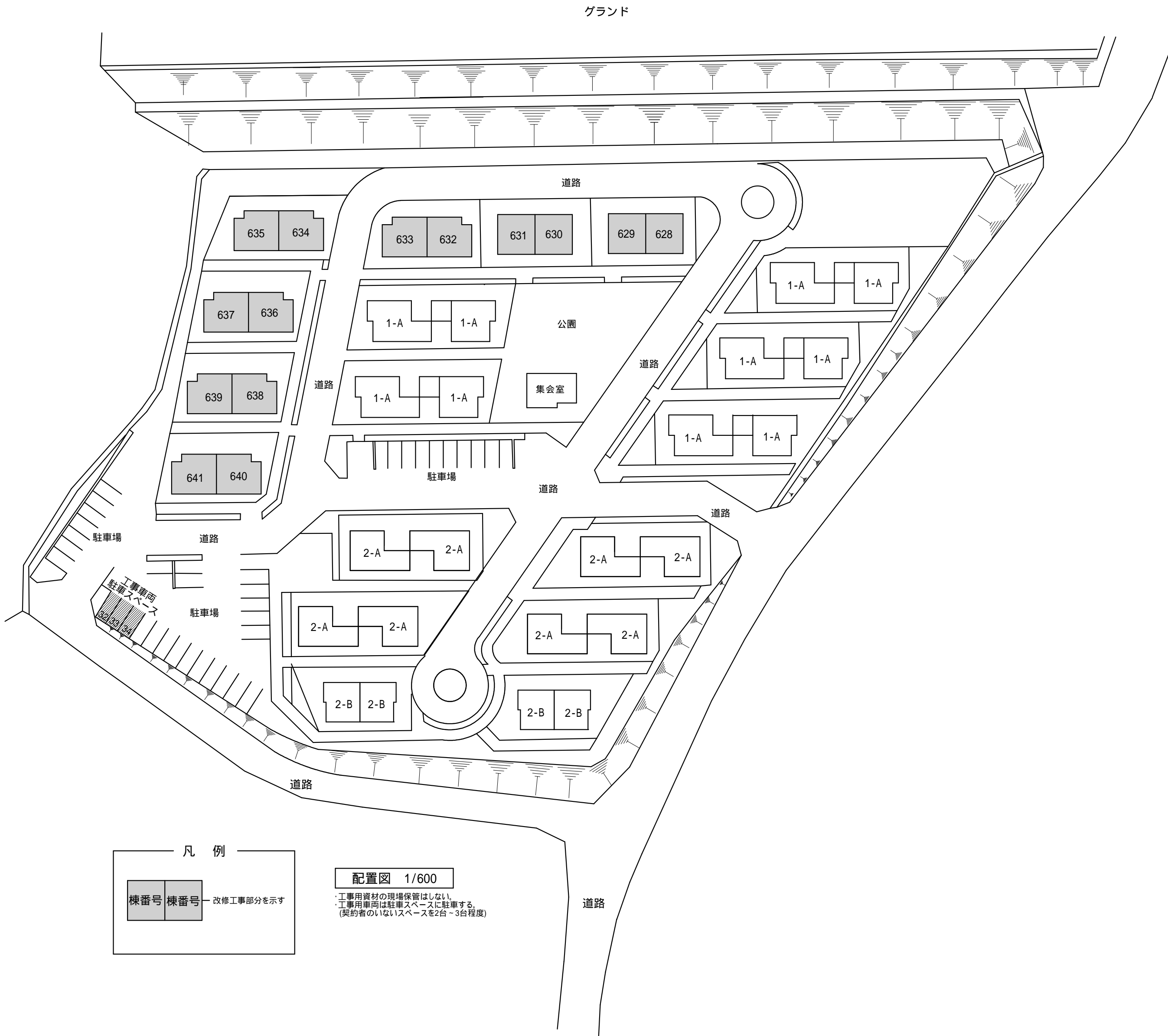
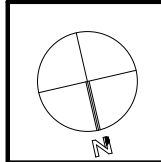
材 種 耐摩カラー鋼板 ・ t=0.4 ○ t=0.35
堅 樋： 90、受金物（ ϕ 1,000mm以下）・専用亜鉛メッキ市販品（全棟）
軒樋：U型120受金物（360mm以下 1）・専用亜鉛メッキ市販品（全棟）
1：軒樋受け金物は既存金物（間隔720mm）を使用し、さらに新設金物を720mm間隔に設置して金物間隔を360mmにする。

- ⑤.雪止め金物

・L-50X50X4.0 亜鉛メッキ（金具共）
・L-50X50X4.0 ステンレス（金具共）
○ L-40X40X3.0 亜鉛メッキ（金具共） 取替部分
・既存再利用L-40X40X3.0（金具共）
・羽根付きタイプ雪止め金具 亜鉛メッキ（金具共）

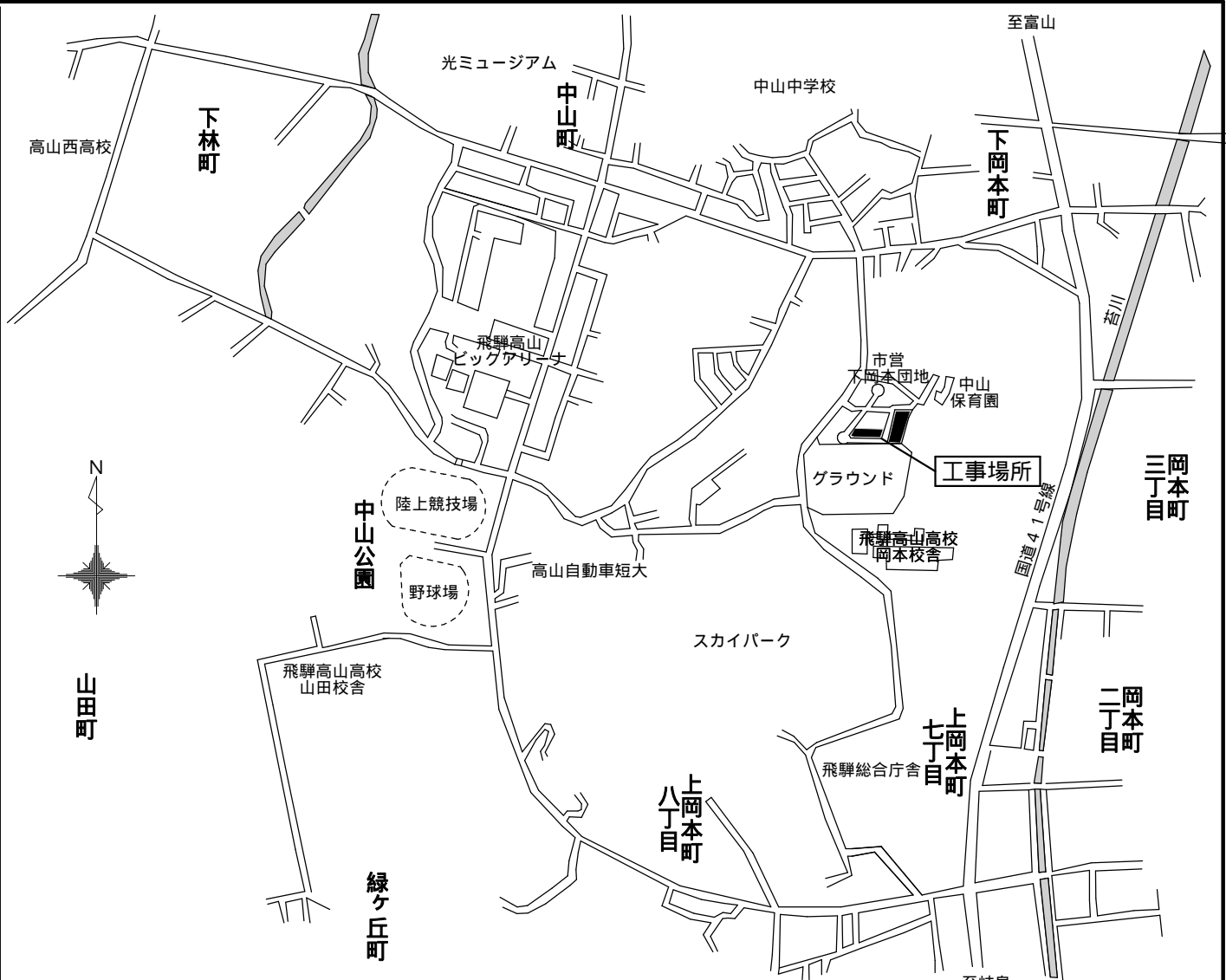
原設計図
【A2】
A2 A3
(70.7%縮小)

工 事 名	市営下岡本団地屋根塗装工事		
図 名	特記仕様書		
縮 尺	1/ -	番 号	1 1 枚の内 1 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 7 月		
設 計	保木建築設計事務所		2級建築士登録第8503号 保木 和幸
高 山 市			



配置図 1/600

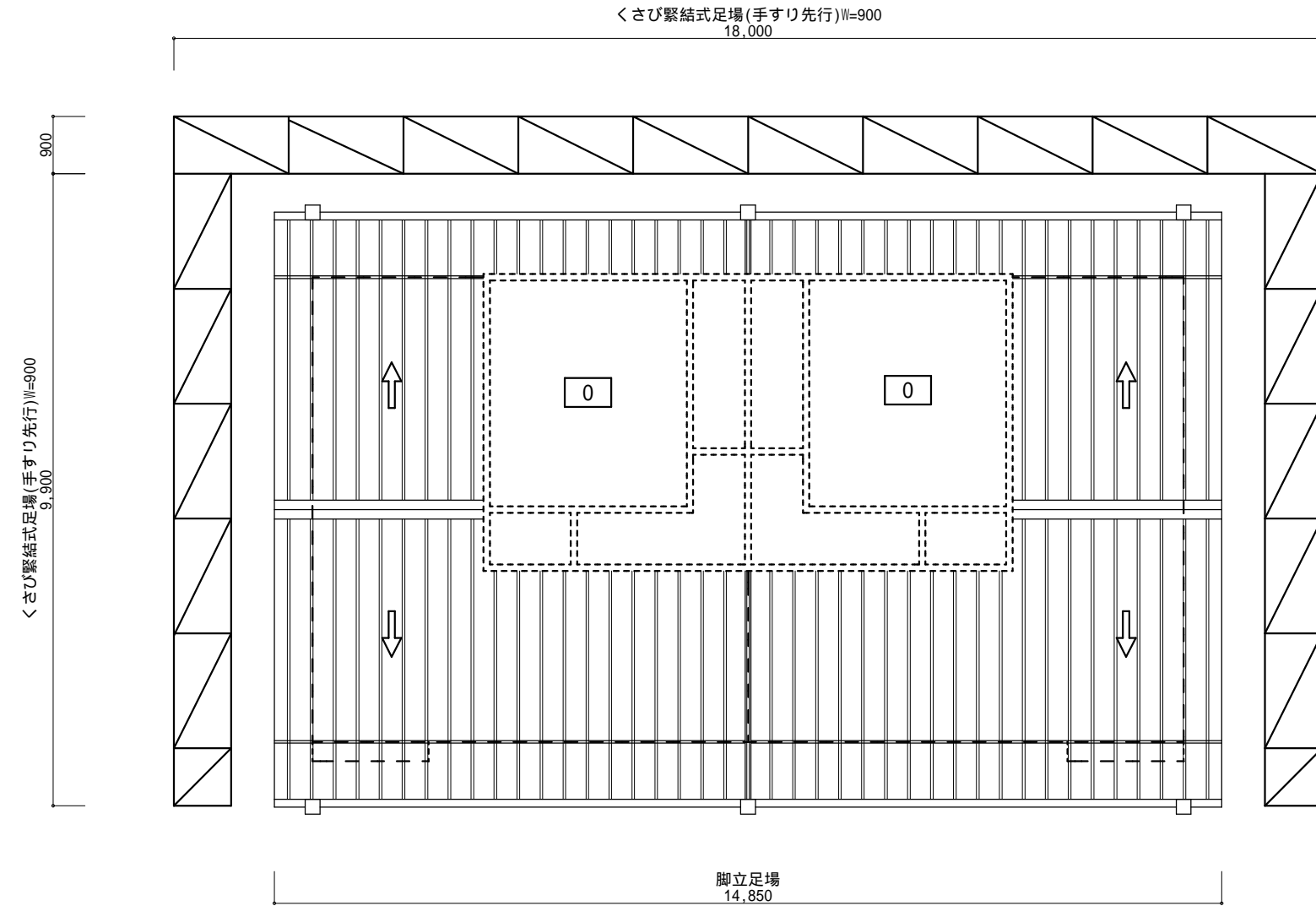
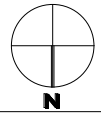
・工事用資材の現場保管はしない。
・工事用車両は駐車スペースに駐車する。
(契約者のいないスペースを2台～3台程度)



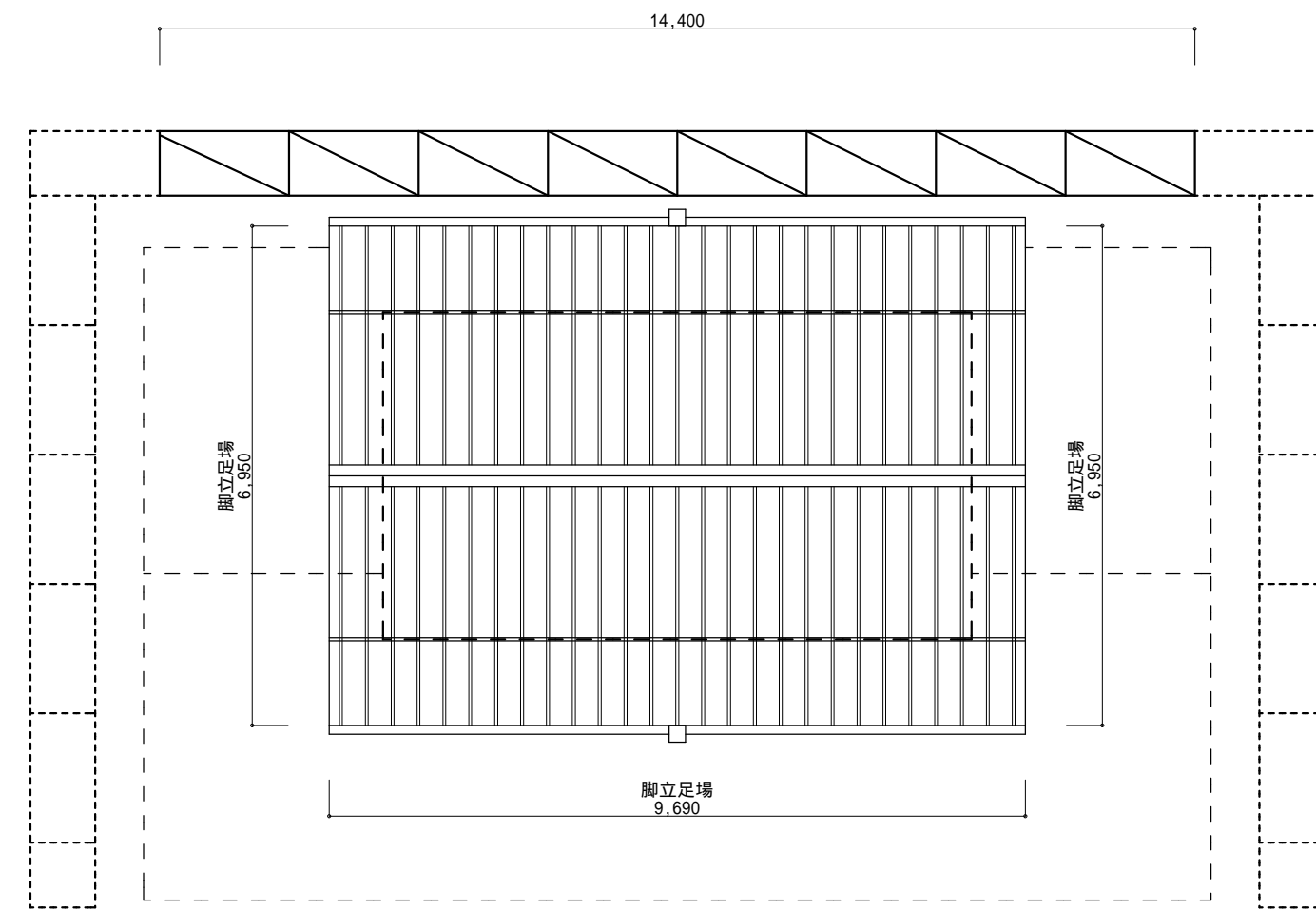
案内図

工事名	市営下岡本団地屋根塗装工事		
図 名	配置図、案内図		
縮 尺	1/600	番号	1 1 枚の内 2 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 7 月		
設 計	保木建築設計事務所		2級建築士登録第8503号 保木 和幸
高 山 市			

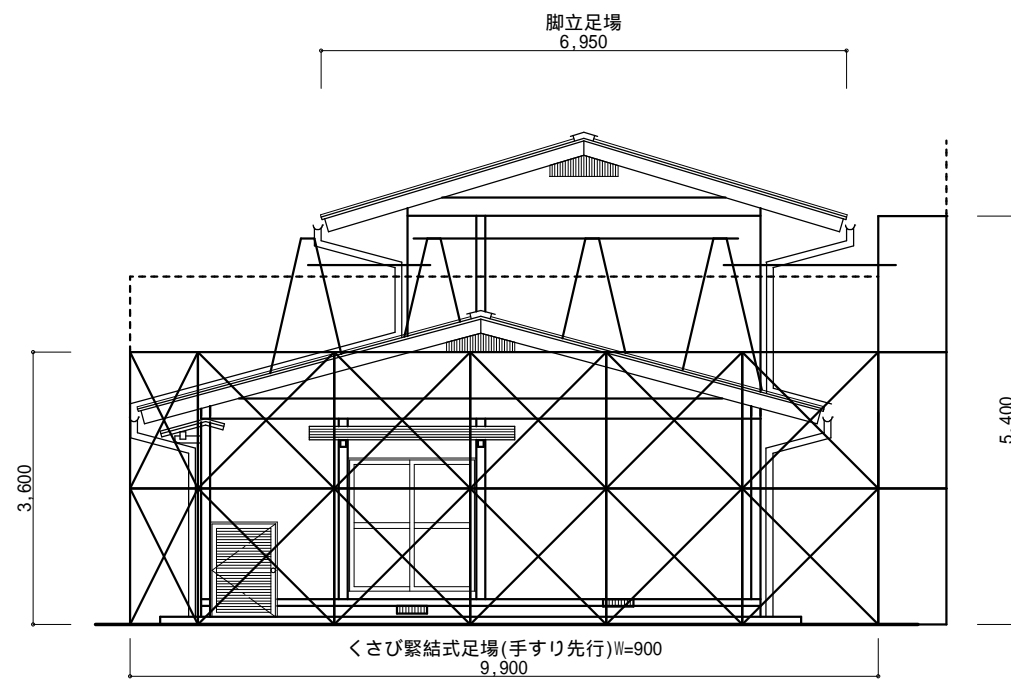
原設計図
【A2】
A2 A3
(70.7%縮小)



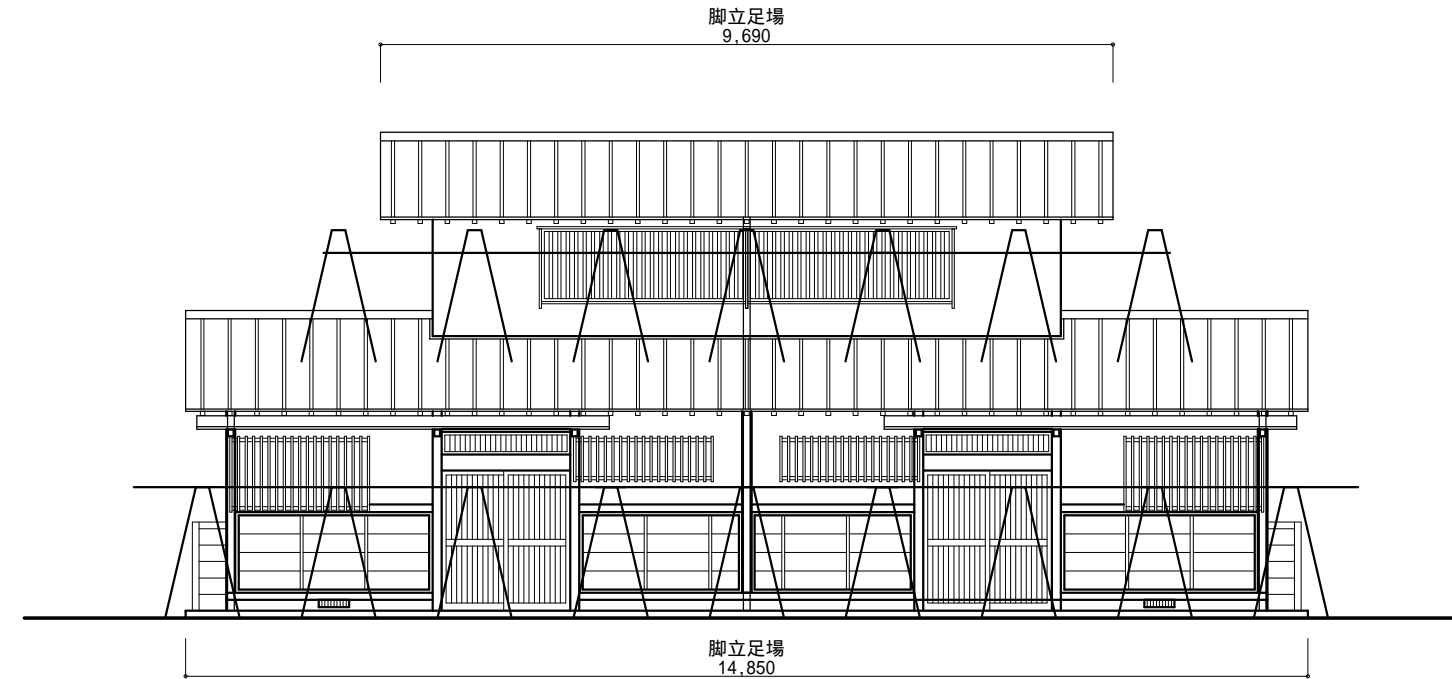
1階屋根伏図 1/100



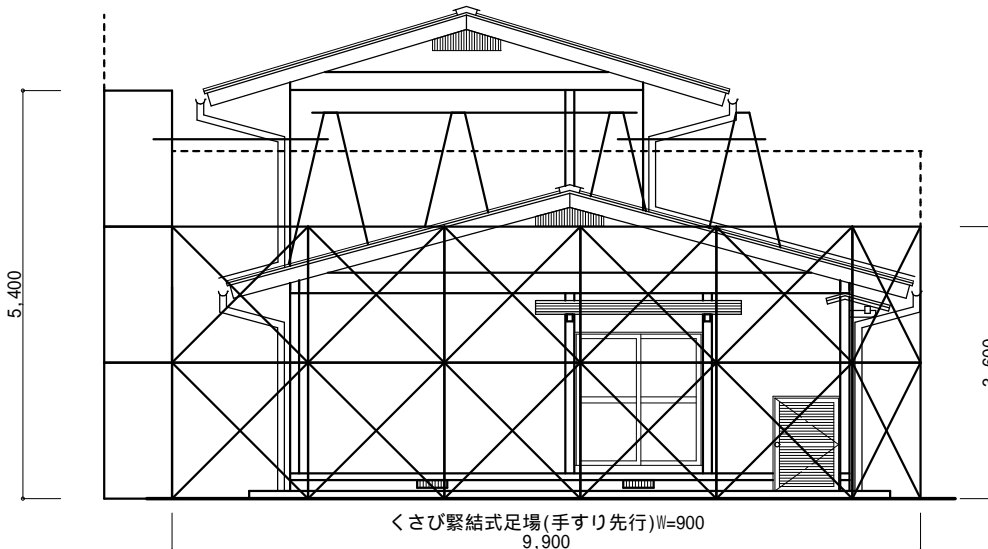
2階屋根伏図 1/100



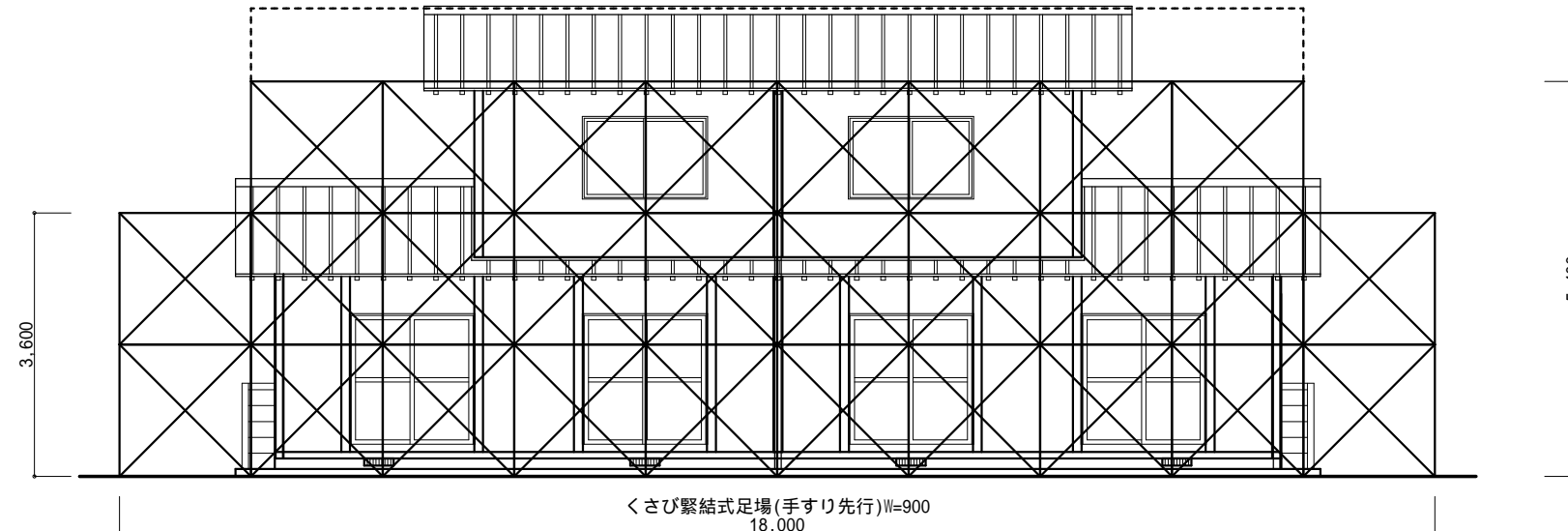
西立面図 1/100



北立面図 1/100



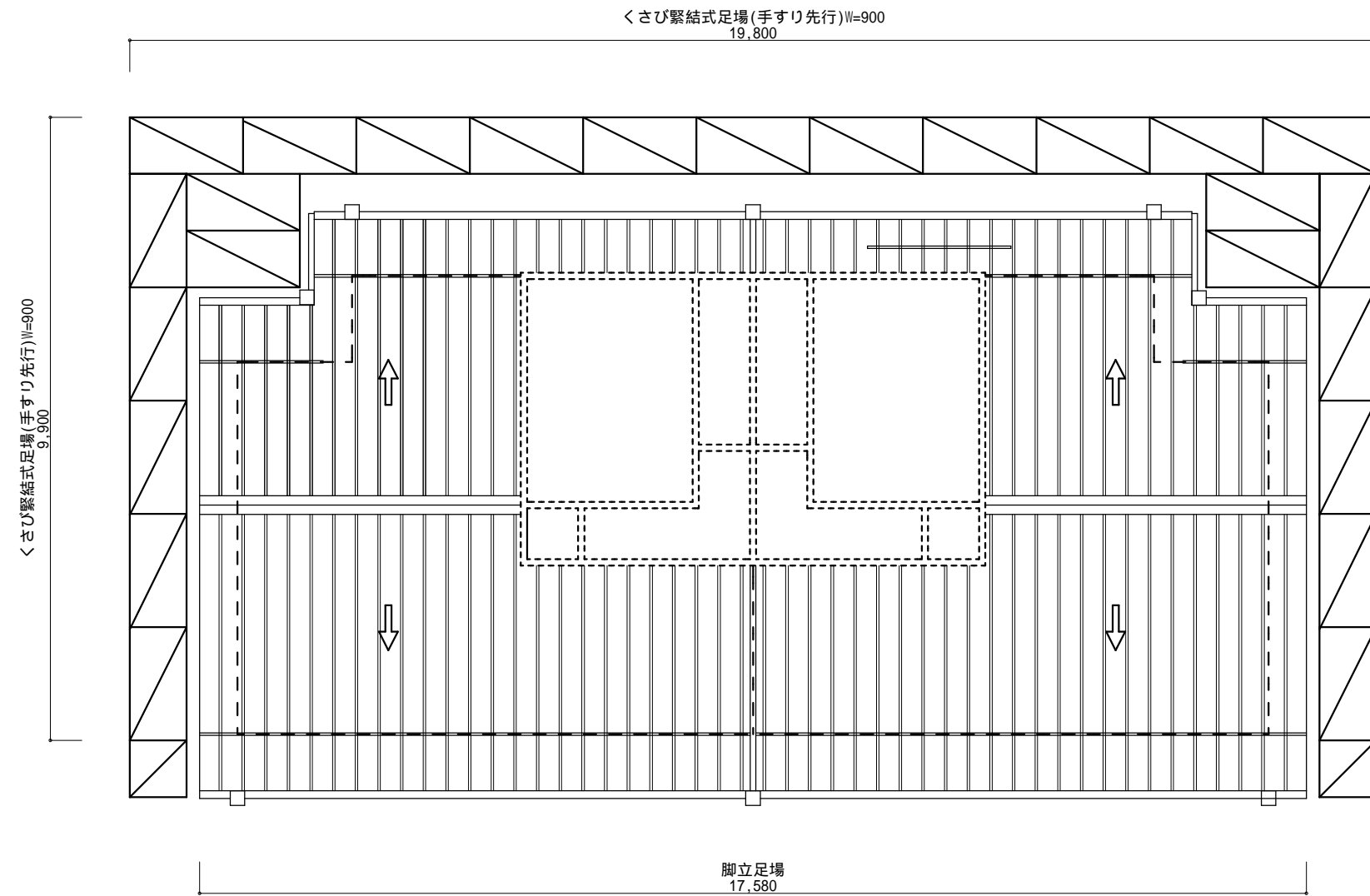
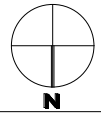
東立面図 1/100



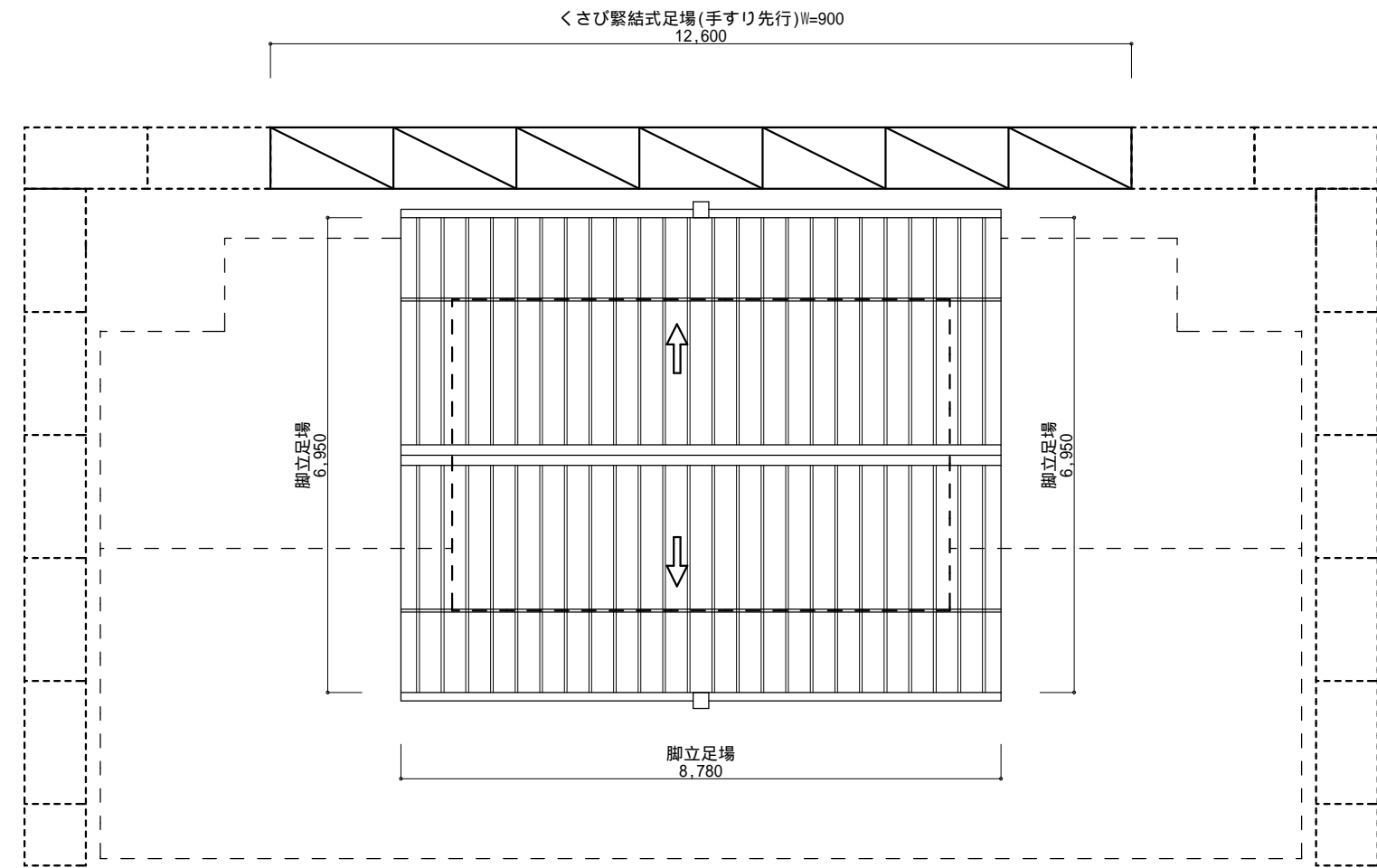
南立面図 1/100

原設計図
【A2】
A2 A3
(70.7%縮小)

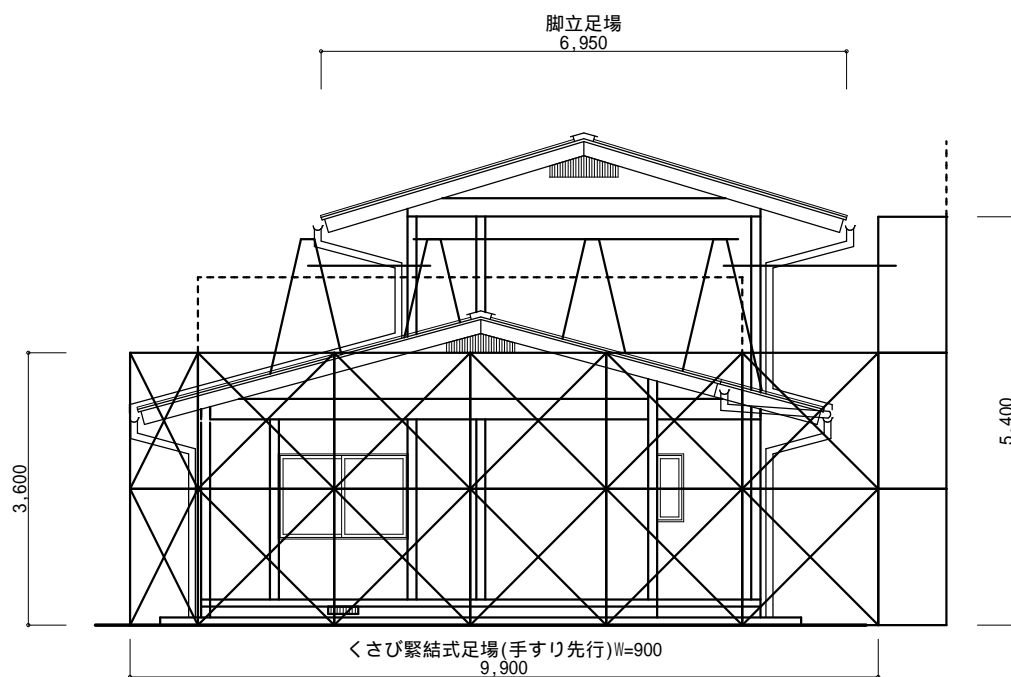
工事名		市営下岡本団地屋根塗装工事	
図 名		【61年棟】仮設図	
縮 尺	1/100	番号	1 1 枚の内 3号
設 計 年月日	令和 7 年 7 月		
設 計	保木建築設計事務所		2級建築士登録第8503号 保木 和幸
高 山 市			



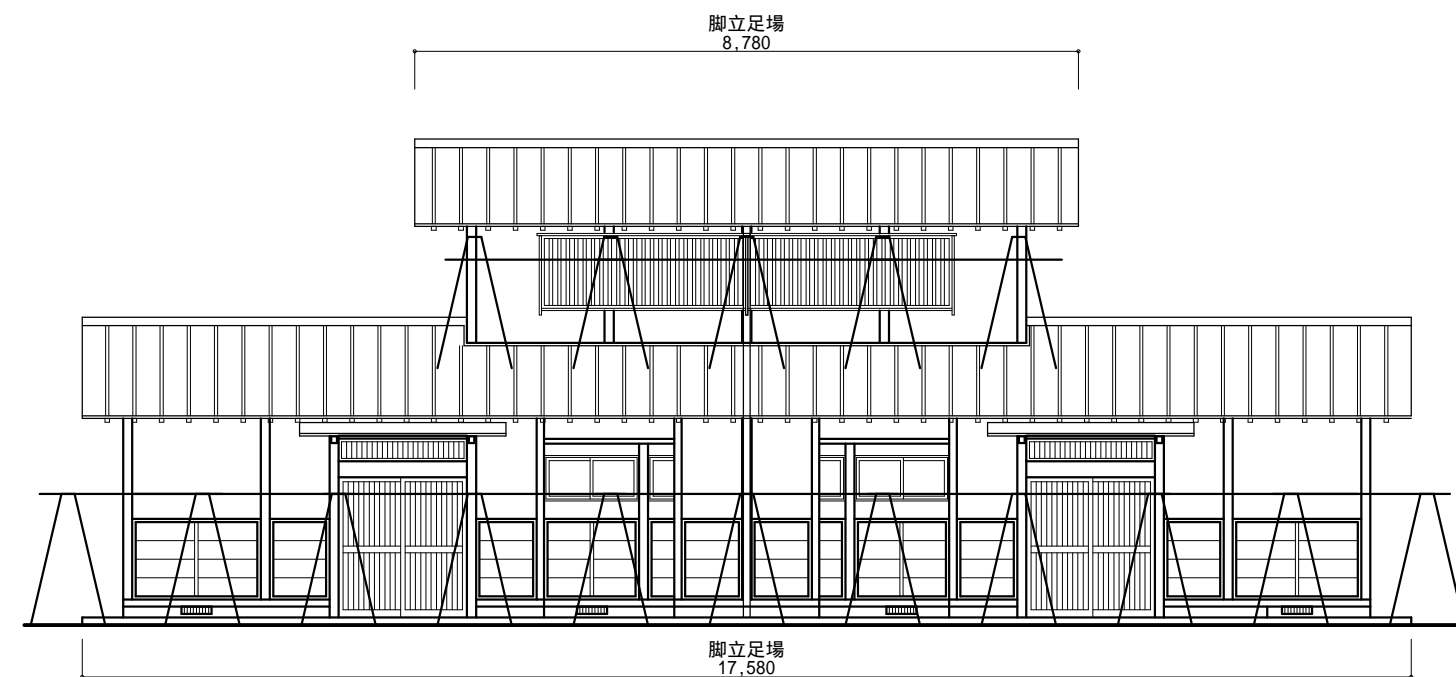
1階屋根伏図 1/100



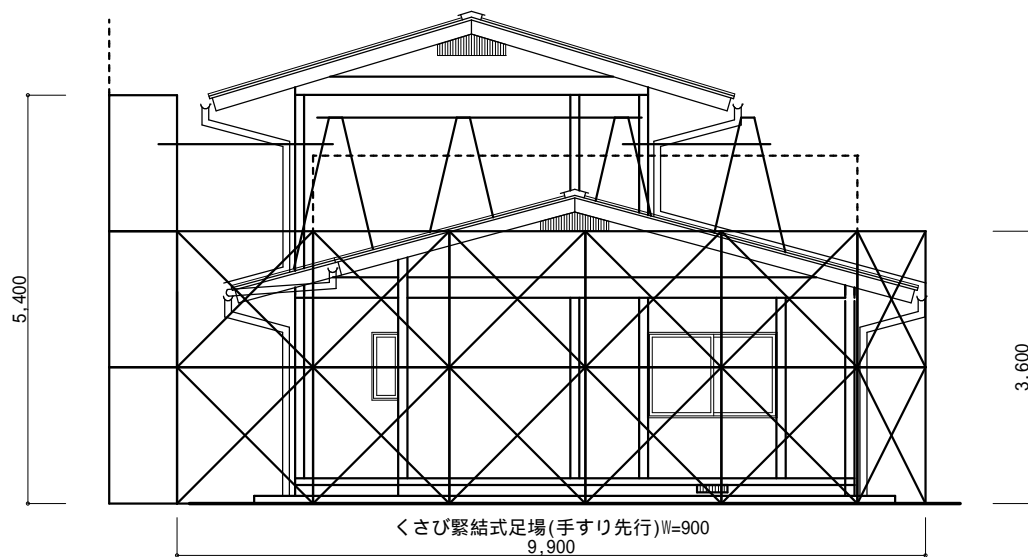
2階屋根伏図 1/100



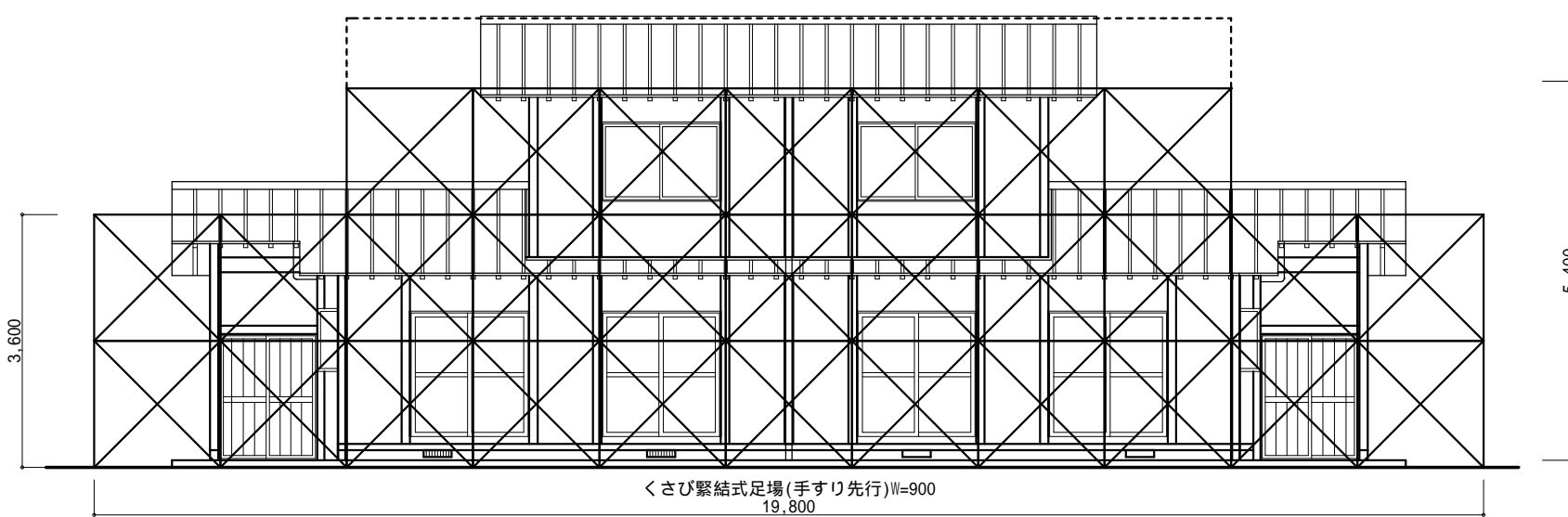
西立面図 1/100



北立面図 1/100



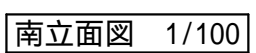
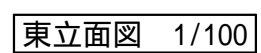
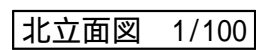
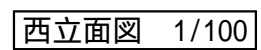
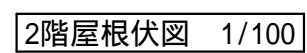
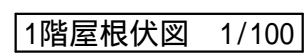
東立面図 1/100



南立面図 1/100

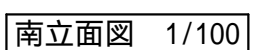
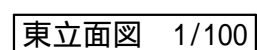
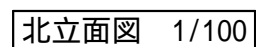
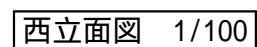
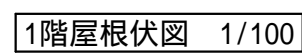
原設計図
【A 2】
A 2 A 3
(70.7%縮小)

工事名	市営下岡本団地屋根塗装工事		
図 名	【62年棟】仮設図		
縮 尺	1/100	番号	1 1 枚の内 4号
設 計 年月日	令和 7 年 7 月		
設 計	保木建築設計事務所 2級建築士登録第8503号 保木 和幸		
高 山 市			



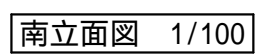
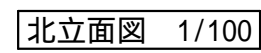
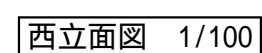
工事名	市営下岡本団地屋根塗装工事		
図 名	【628・629】屋根伏図、立面図		
縮 尺	1/100	番号	1 1 枚の内 5号
設 計 年月日	令和 7 年 7 月		
設 計	保木建築設計事務所	2級建築士登録第8503号 保木 和幸	
高 山 市			

原設計図
【A2】
A2 A3
(70.7%縮小)



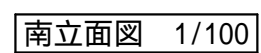
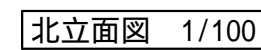
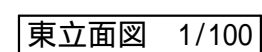
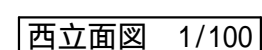
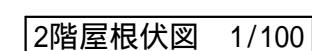
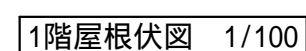
工事名	市営下岡本団地屋根塗装工事		
図 名	【630・631】屋根伏図、立面図		
縮 尺	1/100	番号	1 1 枚の内 6 号
設 計 年月日	令和 7 年 7 月		
設 計	保木建築設計事務所	2級建築士登録第8503号 保木 和幸	
高 山 市			

原設計図
【A2】
A2 A3
(70.7%縮小)



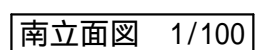
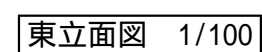
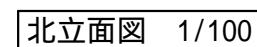
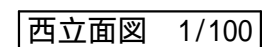
工事名	市営下岡本団地屋根塗装工事		
図 名	【632・633】屋根伏図、立面図		
縮 尺	1/100	番号	1 1 枚の内 7号
設 計 年月日	令和 7 年 7 月		
設 計	保木建築設計事務所	2級建築士登録第8503号 保木 和幸	
高 山 市			

原設計図
【A 2】
A 2 A 3
(70.7%縮小)



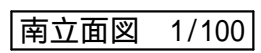
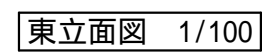
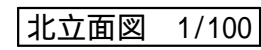
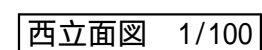
工事名	市営下岡本団地屋根塗装工事		
図 名	【634・635】屋根伏図、立面図		
縮 尺	1/100	番号	1 1 枚の内 8号
設 計 年月日	令和 7 年 7 月		
設 計	保木建築設計事務所	2級建築士登録第8503号 保木 和幸	
高 山 市			

原設計図
【A 2】
A 2 A 3
(70.7%縮小)



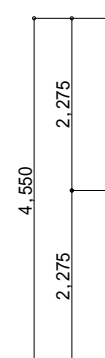
工事名	市営下岡本団地屋根塗装工事		
図 名	【636・637】屋根伏図、立面図		
縮 尺	1/100	番号	1 1 枚の内 9号
設 計 年月日	令和 7 年 7 月		
設 計	保木建築設計事務所	2級建築士登録第8503号 保木 和幸	
高 山 市			

原設計図
【A 2】
A 2 A 3
(70.7%縮小)



工事名	市営下岡本団地屋根塗装工事		
図 名	【638・639】屋根伏図、立面図		
縮 尺	1/100	番号	1 1 枚の内 1 0 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 7 月		
設 計	保木建築設計事務所		2級建築士登録第8503号 保木 和幸
高 山 市			

原設計図
【A2】
A2 A3
(70.7%縮小)



Technical drawing of a house with a mansard roof, showing a cross-section and elevation. The drawing includes dimensions for the roof pitch (1:200), eave overhang (10 cm), and overall height (5.645 m). The house has a central entrance and two windows.

Architectural section drawing of a building facade. The drawing shows a symmetrical structure with a central entrance and two side wings. The central entrance has a large, multi-paned glass door. The side wings have smaller windows. The roof is flat. Dimensions are indicated: 600, 750, 750, 600, 2,990, and 2,655.

Technical drawing of a house with a mansard roof, showing side and front elevations with dimensions.

Side Elevation (Left):

- Roof slope: 10°
- Roof width at top: 1,200
- Roof height from eave to ridge: 3,0
- Wall height from ground to eave: 2,655
- Ground level offset from wall base: 900

Front Elevation (Right):

- Roof slope: 10°
- Roof width at top: 1,200
- Roof height from eave to ridge: 3,0
- Wall height from ground to eave: 2,980
- Ground level offset from wall base: 900
- Roof slope (lower section): 2,7°
- Roof height from eave to ridge (lower section): 2,7

Architectural elevation drawing of a building facade. The drawing shows a symmetrical structure with a central section and two side sections. The central section features a large, multi-paned window. The side sections feature smaller windows and doors. Dimensions are indicated: 600 (width of side sections), 750 (width of central section), and 2,655 (total height). The drawing is a technical line drawing with shading to indicate depth and perspective.

塗装工事	符 号	現 況	改 修 後
	屋 根	カラー鉄板瓦棒葺t=0.35	洗浄及び下地調整の上 遮熱塗装塗り
	雪止めアングル	L-40x40亜鉛メッキ	洗浄及び下地調整の上 遮熱塗装塗り
	破風	木 木材保護塗料	木 木材保護塗料
板金工事	軒 樋	カラー鉄板 U-120〔撤去〕(受け金物間隔@720)	カラー鉄板 U-120〔新設〕(受け金物間隔@360)
	豎樋、呼び樋	カラー鉄板 90〔撤去〕	カラー鉄板 90〔新設〕
	はい樋	カラー鉄板 90〔撤去〕	カラー鉄板 90〔新設〕
	軒樋	カラー鉄板 U-120(受け金物間隔@720)	既設のまま(受け金物間隔@360)
	豎樋、呼び樋	カラー鉄板 90	既設のまま
	はい樋	カラー鉄板 90	既設のまま
<ul style="list-style-type: none"> ・ 雪止めアングルは取り付けたまま金物共に塗装とする。 ・ 軒樋は受け金物(既存金物間隔720mm)共にを撤去する。新設金物は金物間隔360mmとする。 ・ 軒樋は既設のまま使用するが、受け金物は既存金物(間隔720mm)を使用し、さらに新設金物を720mm間隔に設置して金物間隔を360mmにする。 ・ の網掛け部分の部材は、交換済みとなっているので既設のまま利用する。 ・ の集水器は新品取替 			

工事名	市営下阿本団地屋根塗装工事		
図 名	【640・641】屋根伏図、立面図		
縮 尺	1/100	番号	1 1 枚の内 1 1 号
設 計 年 月 日	令和 7 年 7 月		
設 計	保木建築設計事務所		2級建築士登録第8503号 保木 和幸
高 山 市			

原設計図
【A 2】
A 2 A 3
(70.7%縮小)